

J Rの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。info@doro-shien.site

喜勢社長
記者会見

「鉄道のプロとして過信あった」

業務融合化・「IT企業」化の撤回を



喜勢社長 「コンプライアンスを徹底」

喜勢社長は10月8日の記者会見で、輪軸の組立作業のデータ改ざんや走行中の東北新幹線で車両の連結部分が外れた事態に言及しました。

喜勢社長は、輪軸組立不正について、「品質管理の徹底という点で鉄道のプロフェッショナルとして過信があった」「コンプライアンス意識に欠けていた」「厳しい教訓とする」と述べています。

また、グループ会社のトップ会議を開き、コンプライアンスの徹底を行うと説明しました。社員への研修についても、今回の不正を踏まえた内容に変更するとしています。

一方で、自分自身の責任については、「マネジメントにあたる者として反省課題」と言うだけです。対策も結局は、「コンプライアンスの徹

底」だけなのです。

あたかも「現場のコンプライアンス意識の問題」かのような回答は許せません。

コスト削減・利益優先こそ原因

そもそも、JR東日本はデータ改ざんを把握しながら国土交通省に対してさえ隠ぺいしていました。喜勢社長こそ「コンプライアンス違反」の直接の責任者です。

また、問題の根本は「コンプライアンス意識」ではありません。

現場の聞き取りでは、「車軸が使えなくなるとコストが上がる」「はめ直しは数時間かかる」との声が出ています。不正がまん延した根本的な原因は、利益優先・安全切り捨ての徹底したコスト削減です。

*

JR東日本は鉄道業務をバラバラに外注化して、仕事も労働者も子会社・孫会社に突き落としてきました。それは無責任体制と安全の崩壊をもたらしています。

さらに、融合化や「IT企業」化を掲げ、鉄道業務もそこで働く労働者もないがしろにしています。労働者の権利も、鉄道の安全も破壊する施策はただちに撤回すべきです。